

事業計画書（実績書）

令和2年3月31日

団体名 綾部市青少年育成連絡協議会

<p>事業の目的 (何のために行う事業なのか など、事業の趣旨や目的を記 入してください。)</p>	<p>次代を担う青少年の健全育成のために、各種の事業を実施する中で、子どもたちの健やかな成長と、地域の教育力の向上を図る。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>青少年健全育成事業</p>
<p>事業費 (市補助金)</p>	<p>249,008 円 ( 48,000 円)</p>
<p>補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費 に補助金が充当されるか記入 してください。)</p>	<p>夏の大ジャンボリー、市内一斉声かけ、青少年すこやかフォーラム、地域の教育力向上に向けての啓発などに充当。</p>
<p>事業実施期日</p>	<p>平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日</p>
<p>事業実施場所</p>	<p>綾部市内</p>
<p>事業の概要 (事業の実施方法、内容につ いて記入してください。)</p>	<p>◎夏の大ジャンボリー 小学校5、6年生を対象に、一泊二日のキャンプを実施する予定で準備を進めていたが、連日続いた猛暑や当日も厳しい暑さが予想されることから中止とした。</p> <p>◎市内一斉声かけ 11月18日(月)を「一斉声かけの日」とし、家庭、地域、学校が連携した取組になるよう、チラシ等で広報し、市教委、幼稚園、小・中学校との連携による声かけと学校開放(地域参観日)を実施した。</p> <p>◎青少年すこやかフォーラム 家庭、地域、学校の緊密な連携による青少年健全育成活動のより効果的な推進方策を探ることを目的として、参画団体会員や一般参加者を呼びかけ、講演等を実施する予定としていたが、コロナウイルスにより中止とした。</p>
<p>補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果 を、実績書では得られた成果 を記入してください。)</p>	<p>市内一斉声かけを通して、地域の子どもの様子を知ることにつながり、「地域の子どもは地域で育てる」という機運の醸成が図れる。</p>

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（計算書）

令和2年3月31日

団体名 綾部市青少年育成連絡協議会

（単位 円）

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	市補助金	432,000 円	48,000 円	綾部市
	補助金	90,000 円	90,000 円	京都府警察本部
	助成金	272,000 円	73,008 円	ゆめ基金 53,008 円 府補導協会 20,000 円
	参加料	125,000 円	0 円	
	会 費	38,000 円	38,000 円	2,000 円×19 団体
	雑収入	0 円	0 円	
	合 計	957,000 円	249,008 円	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	旅費	7,000 円	1,240 円	役員出張旅費
	会議費	1,000 円	0 円	総会代
	消耗品費	8,000 円	8,000 円	総会資料等
	事業費	902,000 円	206,060 円	各種事業費
	役務費	12,000 円	6,708 円	郵便料
	負担金	27,000 円	27,000 円	府育成協等 5 団体
	合 計	957,000 円	249,008 円	
差 引	0 円	0 円		